



お琴の演奏に搭乗客も足を止めて聞き入っていました

空港で お琴の演奏やカルタ遊び

ましき宝箱「中秋の名月を楽しむ会」開催

中秋の名月を楽しむ会が、阿蘇くまもと空港のふれあい広場で9月22日に行われ、町内外から約100人が参加しました。

ましき宝箱などが、地域のすばらしさを再発見してもらおうと企画したもので、熊本空港ビルも全面的に協力でカルタ取り大会

をしたり、お琴の演奏を聴いたり、また、月の不思議についての解説などが行われました。そして全員で十五夜にちなんで、おしるこを食べました。

あいにくの天気でしたが、一瞬だけ雲の間から月が顔を出すと、子どもたちから歓声が上がっていました。

大切に使います月

益城中生徒が町図書館看板を寄贈

9月30日、ミナテラス(交流情報センター)内にある益城町図書館に、看板のプレゼントがありました。

看板を贈ったのは、益城中学校の生徒8人。約2週間をかけてみんなで作ったという作品は、色とりどりの風船に文字が大きく入れられ、親しみやすく仕上げられています。

生徒たちがミナテラスの中桐所長に「大事に使ってください」と看板を手渡すと、中桐所長も「心のこもった作品をありがとうございます。さっそく図書館の正面入り口に設置したいと思います」とお礼を述べました。



素敵な看板をありがとうございました



県芸術功労者顕彰の報告に訪れた犬飼さん(左)

県芸術功労者として顕彰

いぬかい ゆきこ
犬飼由貴子さん(惣領4町内)

9月9日、芸術や地域文化振興に長年貢献した個人に贈られる第38回熊本県芸術功労者に、華道の部門で犬飼翠雪(本名 由貴子)さんが選ばれ、顕彰されました。これは、現役で活動し、後進の育成に努めている人を対象として、市町村の文化協会などから250人の推薦があり、環境文化など10部門から、12人が選ばれました。

東京国立博物館の正面玄関・大会場で大空間の正月のオブジェを委嘱されるなど、大きな活躍をされている犬飼さん。「花だけでなく、プラスアルファで時代背景や別の想いなども込め、作品を作っている点が評価されたのでしょう」と語られました。おめでとうございます。